

報道機関各位

熊本大学

「国際火山噴火史情報研究集会」 (阿蘇カルデラの防災・減災の取り組み) を開催

平成26年(2014年)御嶽山や平成27年(2015年)口永良部島、箱根山など火山活動の活発化を背景に全国で火山防災への議論が行われている中、阿蘇山でも平成27年9月14日に第一火口で噴火が発生し、火山噴火警戒レベル導入後、初めてレベル3(入山規制)への引き上げを経験するなど活動的な状況が続いています。近年の火山災害の経験を踏まえ被害を軽減するためには、観測体制の強化や噴火メカニズムの詳細解明のほか、住民のみならず観光客をも含めた避難計画の策定や防災・減災教育など、これまで以上に幅広い分野での対策が求められています。本研究集会は、研究、行政、教育など阿蘇火山の防災に関連する機関や個人が一同に集い、最新の学術研究や防災・減災研究の現状を把握するとともに、それらを行政運営や市民生活に生かす効率的・効果的な体制づくりを目指し開催されます。なお、講演では北海道有珠山での噴火予知(2000年)とその後の防災活動に携わる岡田弘(北海道大名誉教授)や、斜面災害を長年研究されてきた横田修一郎(島根大学名誉教授)の特別講演を予定しております。災害時に大きな役割が期待される報道機関の方々には、広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の議論にもご参加いただければと思います。

講演プログラムなど詳細はこちらをご参照ください。 <http://iresc.kumamoto-u.ac.jp>

なお、本研究集会は1月23日(土)に福岡大学にて開催される「国際噴火史情報研究集会(九州の火山学の将来を考えるー基礎研究から防災までの人材育成)との連動企画です。

<http://www.fukuoka-u.ac.jp/press/16/01/14110404.html> (福岡大学プレスリリース)

記

- 【日時】平成28年1月24日(日) 9:00~17:30
- 【場所】熊本大学工学部1号館3階スタジオ(熊本市中央区黒髪2-39-1)
- 【対象】一般の方(定員:100名)
- 【参加費】無料(当日会場での受付のみ)
- 【主催】西日本火山活動研究集会
福岡大学産学官連携研究機関国際火山噴火史情報研究所
熊本大学大学院自然科学研究科附属減災型社会システム実践研究教育センター
- 【交通手段】駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

【お問い合わせ先】

熊本大学大学院自然科学研究科
附属減災型社会システム実践研究教育センター
担当: 竹内・鳥井・渡邊 TEL: 096-342-3489

日時：2016年1月23日（土）～24日（日）

会場：23日：福岡大学七隈キャンパス 18号館 2階 1824講義室（福岡市城南区七隈）

24日：熊本大学黒髪南地区工学部 1号館 3階スタジオ（熊本市中央区黒髪）

主催：西日本火山活動研究集会, 福岡大学産学官連携研究機関国際火山噴火史情報研究所,
熊本大学大学院自然科学研究科附属減災型社会システム実践教育研究センター

後援：京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設, 阿蘇火山博物館, 阿蘇ジオパーク推進協議会

プログラム：

1月23日（土）「九州の火山学の将来を考える—基礎研究から防災までの人材育成」

9時～12時40分（座長：稲倉, 藤木, 中西, 堀川）

1-01. 藤木利之（岡山理大）・和田恵治（北海道教育大）・佐藤鋭一（神戸大）・奥野 充（福岡大）「北海道東部, 茨散沼のコア試料の花粉化石およびテフラ分析：火山噴火の植生へのインパクトと回復プロセス」

1-02. 高橋伸弥・奥村 勝・鶴田直之（福岡大）「じおログモバイル：火山噴火史情報データベースを利用したモバイルアプリケーションの開発」

1-03. 奥村 勝・矢羽田優輝・高橋伸弥・鶴田直之（福岡大）・鳥井真之（熊本大）「ジオパーク向けガイドアプリケーションの現地評価報告」

1-04. 堀川義之（福岡大）「国東半島, 両子火山群のマグマティズム」

1-05. 藤田詩織・清水 洋（九州大）「大量マグマの蓄積による地殻変動と歪・応力の推定」

1-06. 稲倉寛仁（西日本技術開発）「火山地域における Sentinel-1 による干渉 SAR 解析」

1-07. 山崎圭二（福岡大）・鳥井真之（熊本大）・中西利典（福岡大）・エリクソン バリソ・ダニコ リベラ・ロブ リム・キャシー パガイ・アルトロ ダアグ (PHIVOLCS) ・中村俊夫（名古屋大）・鹿島 薫（九州大）・檀原 徹（京都 FT）・ホン ワン (KIGAM) ・奥野 充（福岡大）「フィリピン, ルソン島中央部のパイタン湖のコア試料の層序と年代」

1-08. 椎原航介・長谷中利昭（熊本大）・安田 敦・外西奈津美（東京大）・森 康（北九州自然史・歴史博）「大峰スコリア中のメルト包有物の化学組成：阿蘇-4 火砕噴火直前のマグマ供給系」

1-09. 川口允孝・長谷中利昭・弥頭隆典・玉井佑弥（熊本大）・望月伸竜（熊本大学大学院先端機構）・森 康（北九州自然史歴史博）「阿蘇中央火口丘群北西部完新世火山噴出物の組成変化：磁気層序との対比」

1-10. 小林哲夫（鹿児島大）・アグン ハリジョコ・アイ ワヤン ワルマダ（ガジャマダ大）・渡邊公一郎・永田知研（九州大）・中村俊夫（名古屋大）・田口幸洋・奥野 充（福岡大）「バリ島北部, バツールカルデラのペネロカン噴火の推移」

- 1-11. 奥野 充 (福岡大)・アグン ハリジョコ・アイ ワヤン ワルマダ (ガジャマダ大)・渡邊公一郎 (九州大)・中村俊夫 (名古屋大)・田口幸洋 (福岡大)・小林哲夫 (鹿児島大) 「バリ島北部, ブヤン・ブラタンカルデラの後カルデラ火山の噴火史」

13 時 30 分～17 時 (座長: 奥野, 宝田, 西園)

- 2-01. 宝田晋治・G-EVER 推進チーム (産総研) 「G-EVER 火山災害予測支援システム, アジア太平洋地域地震火山災害情報図プロジェクトによる火山災害軽減」
- 2-02. ホン ワン・パク ジュンフン・パク キュジュン・リー ジョンゴル・リー ユンス (KIGAM) 「ウイグルマッチング法による白頭山の噴火史の高精度解析」
- 2-03. 土志田正二 (消防研) 「日本全国の地すべり分布の定量的評価」
- 2-04. 中村洋介 (福島大) 「教員志望者を対象とした, これからの福島の復興教育を担う人材育成」
- 2-05. 瀬戸真之・高木 亨 (福島大) 「海外の人材育成に日本の災害対応事例が果たす役割」
- 2-06. 長谷中利昭 (熊本大) 「火山学における人材育成とは? - 地球物質科学的研究に注目して -」
- 2-07. 清水 洋 (九州大) 「火山観測研究と人材育成」
- 2-08. 奥野 充・小林哲夫 (福岡大) 「噴火史データベースを研究進展にどう利用するか: 基礎データを大切に国際誌の提案」
- 2-09. 西園幸久 (西日本技術開発) 「科学と技術の融合と社会が求める“専門家”人材像」

16 時 30 分ー【総合討論】 「九州の火山学の将来を考えるー基礎研究から防災までの人材育成ー」

1 月 24 日 (日) 「阿蘇カルデラでの防災・減災の取り組み」

9 時～12 時 (座長: 鳥井, 西山, 竹内, 鶴田)

- 3-01. 宮縁育夫 (熊本大) 「阿蘇火山中岳の活動史と 2014～2015 年噴火」
- 3-02. 永田紘樹 (阿蘇 GP)・長岡千香子 (熊本大)・池辺伸一郎 (阿蘇火山博)・喜多敏博・鳥井真之・竹内裕希子 (熊本大) 「地域減災に対してジオパークのネットワーク活動が果たす意義ー熊本大学と阿蘇ユネスコグローバルジオパークの連携ー」
- 3-03. 長岡千香子 (熊本大)・永田紘樹 (阿蘇 GP)・竹内裕希子・鳥井真之・喜多敏博 (熊本大) 「阿蘇ジオパークについて学ぶための e ラーニング設計」
- 3-04. 竹内裕希子・稲本義人 (熊本大) 「阿蘇カルデラにおける学校防災教育の展開例」
- 3-05. 吉田 護・渡邊 勇 (熊本大) 「カタストロフリスクに対する社会的関心と危機管理に関する試行的考察」
- 3-06. 西山賢一 (徳島大)・鳥井真之 (熊本大)・横田修一郎 (島根大)・若月 強 (防災科研)・井上 弦 (埼玉大)・中尾賢一 (徳島県博)・星出和裕 (熊本県) 「阿蘇カ

ルデラ斜面における斜面崩壊・土石流の発生頻度の推定」

- 3-07. 鶴田直之・奥村 勝・高橋伸弥・奥野 充（福岡大）・鳥井真之（熊本大）・稲倉寛仁（西日本技術開発）「知識基盤社会における多目的利用が可能な火山露頭データベースの構築」
- 3-08. 田中和広・佐々木千穂（山口大）「土石流を例とした減災のためのハザードマップ」

13時～17時（座長：松田，鳥井，稲倉，奥野）

- 4-01. 岡田 弘（北海道大／CeMI）「火山噴火の予知と減災とのほざま・・・ネバーアゲインの減災協働への一世紀」
- 4-02. 横田修一郎（元・島根大）「自然災害の軽減に向けた地域社会構築への課題」
- 4-03. 井上秀穂・西 正義（福岡管区气象台）「阿蘇山火山防災連絡事務所の火山監視・観測業務について」
- 4-04. 大倉敬宏（京都大）「京都大学・火山研究センターの取り組み」
- 4-05. 池辺伸一郎（阿蘇火山博）・永田紘樹（阿蘇 GP）・渡辺一徳（阿蘇火山博）「阿蘇中岳，前回（1988-95）と今回の活動対比と阿蘇火山博物館の役割」
- 4-06. 松田泰治・鳥井真之（熊本大）「阿蘇火山の減災・防災についての熊本大学減災センターでの取り組み」
- 4-07. 市原敏博（阿蘇市）「阿蘇火山防災会議協議会の活動について」
- 4-08. 仲田裕一郎（熊本県）「阿蘇火山噴火に対する土砂災害防止対策について」
- 4-09. 小森田直樹（熊本県）「熊本県における阿蘇火山防災対策について」

16時～ 【総合討論】「阿蘇カルデラでの防災・減災の取り組み」